

○令和元年法奥小学校森林・林業体験学習の実施 (6年生)

十和田市立法奥小学校6年生が、9月26日(木)・27日(金)・10月23日(水)の3日間、森林・林業体験学習を実施しました。

1日目(9/26)は、当署の職員が先生となって、木を伐り木材を利用することと環境との関わりについて授業形式で実施しました。また、2日目以降(9/27・10/23)は、実際に現地に赴き、木が倒れる瞬間や木材が住宅に使用されている様子を見学し、丸太を柱・板に加工するための工程の体験も行いました。

木が倒れると、子供達からは歓声や拍手が起こり、各説明者に「仕事のやりがいは何ですか?」、「一日に何本伐るんですか?」など多くの質問が寄せられました。また、木材加工センターでは、丸太が主製品である柱や板になる様子だけではなく、加工過程で出た皮やチップも燃料等として利用されているところを見学しました。子どもたちは、木材には無駄なところがなく、全て利用できるということを確認できたようです。最終日のモデル住宅の見学では、余った端材を使ったペン立て作りやカンナかけなど大工さんの仕事を体験した後、たくさんの樹種の木材をふんだんに使ったモデル住宅の見学をしました。大工さんのカッコよさや木材を適材適所に使う技術に子供達からは歓声があがっていました。

この3日間の学習により、森林の大切なはたらきや、木材は循環できる資源であること、林業や建築業が日々の生活にどのように関わっているのかなどについて、子どもたちの理解が深まったのではないかと思います。

今回の学習においては、林業事業体及び企業の方々にご協力いただきました。お忙しい中、快くご協力いただき誠にありがとうございました。



授業の様子



ハーベスタの説明



記念写真



木材加工センターでの様子



カンナかけの体験



モデル住宅内の木材の説明